



今月は順送チームのK・Kを紹介します!!

今月は順送チームの若手メンバーとチーム内ジョブローテーションの紹介です。

2020年は仕事量が落ち着いて、多能工化などの改善に取り組む年になっています。

今月のKK広場では、順送チームの若手3人の仕事と、

1月20日から実施しているチーム内ジョブローテーションの取り組みを紹介します。



まず最初は、2019年4月入社の小室誠さんです。

小室さんはアイダ160tから110tに担当を変更してもらっています。

共栄プレスに入社してよかったことは、「周りの人が良い人ばかりで仕事がやりやすい」

これまでの仕事で心に残っているのは、

「前職が試作屋だったので、量産の仕事が面白かった。製品がうまく流れないときに原因を理解するまでが、しんどかった」

仕事で目指しているのは、

「自動で流れる製品が多いので、次段取りを考えながら作業すること」

「気になることがあったら、なんとなくで済ませず、質問する事」だそうです。

また、「もっと勉強会をして欲しい」と希望もあてられました。

2人めは、2018年3月入社の小嶺健史さんです。

小嶺さんは200tサーボを担当していますが、今後アイダ200tを担当してもらうことになっています。

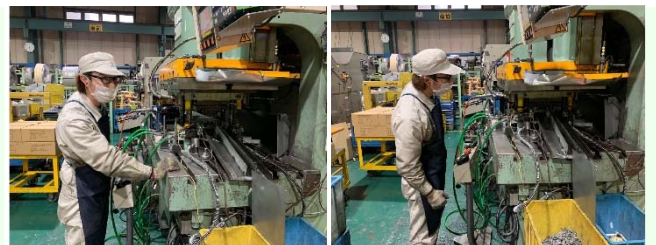
共栄プレスに入社してよかったことは、

「グンゼスポーツの会員券がもらえること」

これまでの仕事で心に残っているのは、

「指をけがしてしまい、『やらかしてしまった』ということ」

仕事で目指しているのは、「一人で仕事できるように覚え、次に仕事をする人が働きやすいようにすること」だそうです。



そして3人目は、2018年2月入社の田中達也さんです。

田中さんは小嶺さんと入れ替えでアイダ200tから200tサーボに担当を変更してもらいます。

共栄プレスに入社してよかったことは、

「AE工場を含めいろんな仕事を経験させてもらったこと」、

これまでの仕事で心に残っているのは

「AE工場から本社工場に異動が決まり、1から違う仕事を覚えられないいけないことに、抵抗がありましたが、今ではいい経験ができた」と感謝しています。」

仕事で目指しているのは、

「相談、確認をしながら作業をすすめること、過信をしないこと、

記録をして、無駄な確認や同じ失敗をしないこと」だそうです。

3人とも若いながらもしっかりとした考えを持って仕事に取り組んでくれています。

順送プレスの技術をしっかり身につけてもらい、10年、20年先のリーダー的存在を目指して頑張ってくれています。

今回は新人さんにスポットを当てましたが、次回はベテランさんの紹介をしたいと思います。お楽しみに。

管理課課長 若原 鎬一